

令和元年度 事務事業総点検シート(1)  
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	療養生活環境整備事業	シート番号			A 一般事務事業
担当部署名	健康福祉 局	健康 部	保健所 保健医療 課	評価責任者(課長名)	藤川

<< I. 基本情報 >>

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	平成 8 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	難病の患者に対する医療等に関する法律(難病法)、療養生活環境整備事業実施要綱			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	平成24年度までは難病患者等居宅生活支援事業に基づき、ホームヘルパー派遣事業及びホームヘルパー養成研修を交互に実施していたが、平成25年4月の障害者総合支援法施行に伴い、ヘルパー派遣事業は障害福祉サービスに変更されたため終了。平成27年度以降は難病法に定める療養生活環境整備事業の一環として実施している。また、平成30年度からは、大阪府からの権限移譲に伴い、難病患者支援センター事業や在宅人口呼吸器使用患者訪問看護業務を含めて再編し、事業名を「療養生活環境整備事業」と改めた。(「難病患者支援事業」のシート参照)				

<< II. 事業概要 >>

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	難病患者とその家族、市内で難病患者等に対しホームヘルプサービスを提供する事業所のサービス担当者				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	難病患者の療養生活の質の向上や在宅での適切な医療の確保を目的とする。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<p>○難病患者等を担当するホームヘルパーの資質向上を図るため、専門の養成機関等に委託してホームヘルパー養成研修を実施する。介護職員初任者研修修了者などを対象に、難病基礎課程Ⅰ及び難病基礎課程Ⅱに分けて、各1日を予定(定員各50名)。</p> <p>○難病患者支援センターの管理運営を大阪府特定疾患研究会に委託し、患者交流会や疾病別の学習会、患者会活動の支援、ピアサポート等、難病患者支援の拠点として事業を展開する。</p> <p>○在宅で人工呼吸器を使用している指定難病患者に対し、医師の指示のもと診療報酬で定められた回数を超える訪問看護を受ける場合、その回数を超えた訪問看護にかかる費用を公費負担する。</p>				
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 大阪府特定疾患研究会、医療法人寿暁会おおさわ、クリニック、地域ケアステーション八千代、訪問看護ステーション					

<< III. 投入量 >>

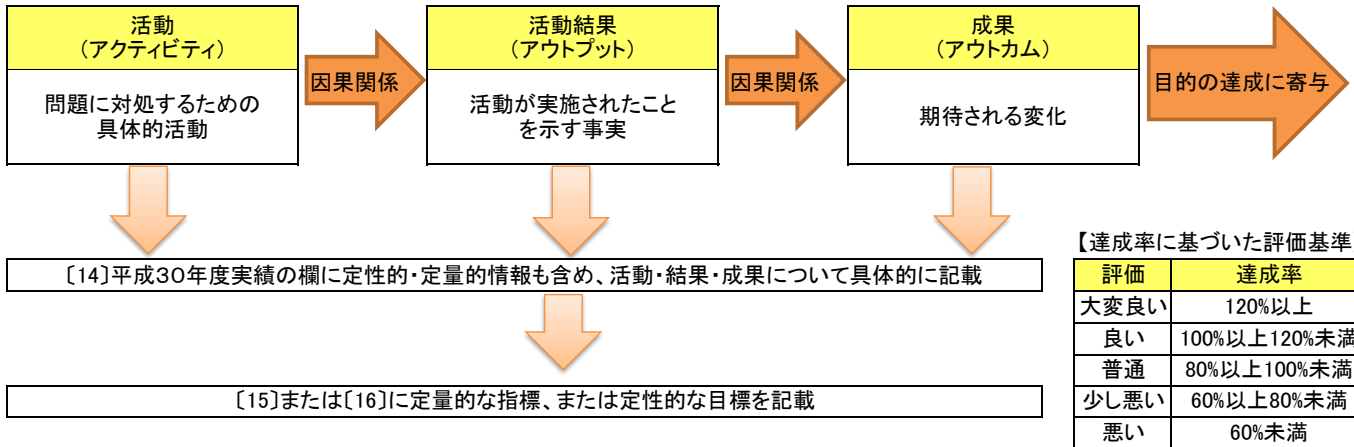
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11	事業費(a)	千円	267	339	29,407	32,185
	主な事業費内訳	ホームヘルパー養成研修	千円	267	339	250	400
		難病患者支援センター事業	千円			24,737	24,967
		在宅人口呼吸器使用患者訪問看護業務	千円			4,412	6,538
	財源内訳	国・府支出金	千円	133	332	15,681	15,983
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他( )	千円				
		一般財源	千円	134	7	13,726	16,202
	12	人件費(b)	千円	820	2,050	5,330	5,265
	13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	1,087	2,389	34,737	37,450

# 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	療養生活環境整備事業	シート番号	11-219
-------	------------	-------	--------

## 《Ⅳ. 評価(測定・分析)》

### ロジックモデルの考え方



### 事業の活動内容や成果

		平成30年度実績						
活動実績と成果	14	<p>・ホームヘルパー養成研修の実施(3月) 介護職員初任者研修修了者などを対象に、難病基礎課程Ⅰ及び難病基礎課程Ⅱに分けて、各1日開催(定員各50名)。 ・難病患者支援センターの管理運営 患者交流会や疾病別の学習会、患者会活動の支援、ピアサポート等を実施(49回927人相談)。年2回、患者・患者会との意見交換会を実施。 ・在宅人口呼吸器使用患者訪問看護業務の実施(利用者6名) 在宅で人工呼吸器を使用している指定難病患者に対し、医師の指示のもと診療報酬で定められた回数を超える訪問看護を受ける場合、その回数を超えた訪問看護にかかる費用を公費で負担。</p>						
		15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	難病患者支援センターにおける学習会及び交流会開催回数	目標値	回	40	40	49	52	
		実績値	回	50	55	53		
		達成率	回	125%	138%	108%		
		評価	回	大変良い	大変良い	良い		
	算出方法・設定根拠など		過去3年間の実績値の平均を目標値に設定					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		難病患者支援センターにおける電話、面談等による相談件数	目標値	件	—	—	—	—
			実績値	件	546	732	927	
達成率			件	—	—	—		
評価			件	—	—	—		
算出方法・設定根拠など		罹患している疾病や状況・状態によって相談時間や必要回数等が異なるため、目標値を設定することになじまない。						

### 業績の分析

17	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
	<p>難病患者支援センター事業については、従来から実施している交流会や学習会の開催回数は横ばいとなったが、相談件数は大幅に伸びており、認知度向上や利用者のニーズにあった事業展開等において一定の成果を上げていると考えられる。</p>

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。